

## 第 5 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和 3 年 8 月 26 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
会 場	北区役所 301 会議室
出席委員	神田委員、五十嵐委員、阿部委員、鶴巻委員、中嶋委員、本間委員 皆川 (英) 委員、清水委員、佐久間委員、皆川 (靖) 委員
欠席委員	横山委員
事務局 関係課	古寺北出張所長、 地域総務課 (中川補佐、菊地係長、神田副主査、伊藤)
会議要旨	<p>1 令和 3 年度自治協議会提案事業「めざせ防災力向上！」について 提案事業について、NPO 法人ふるさと未来創造堂を招き、事前研修会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・提案事業で行うブースの提案、説明。</li><li>・ブースで行うプログラム体験として、ジャッキアップゲーム、防災カードゲーム、濃煙体験、水消火器体験を実施。</li><li>・プログラム体験をもとに役割分担を決定。</li></ul> <p>2 これからについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・決定した役割で事業を実施するために 10 月に再度研修会を行うこととした。</li></ul> <p style="text-align: right;">以上</p>

## 第 5 回 福祉教育部会 会議概要

開催方式	書面開催
意見締切日	令和 3 年 8 月 26 日 (木)
参加委員	清水(博)委員、神田(恭)委員、有田委員、樺山委員、斉藤委員、藤沢委員、藤原委員、本間(啓)委員、山田委員、遠藤委員 10 人
会議要旨	<p><b>令和 4 年度自治協議会委員提案事業について</b></p> <p>福祉教育部会の 2 事業について、提案者が部会員であることと、内容に共通するものがあるため、8 月 4 日(水)に事務局と本間委員、遠藤委員で打ち合わせを行い、修正案を作成し、文書にて部会員に意見を求めました。意見要旨は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定年退職後に地域活動に参加することは、結構仕切りが高いように感じる(特に男性)。現役世代でも地域活動に積極的な人は多い。地域にはいろいろなボランティア活動がある。北区の自治会・町内会での情報をまとめて発信できたらいいのでは。</li> <li>・定年退職後は地域に出る機会が減るため、地域活動に踏み出す後押しする取り組みは大切である。異世代も参加して交流できる取り組みを促進すれば、世代が異なる住民同士のつながりが深まるきっかけとなるのではないか。</li> <li>・とても興味のある内容です。</li> <li>・目的が定年退職者を対象としているのに、手段と期待される事業効果が子育てに重きが置かれている。</li> <li>・社会福祉協議会で「ボランティアカフェ」が毎月 1 回、「子育てサロンぴょんきち」が毎月第 1 水曜日に開催されている。</li> <li>・子育てボランティアに特化することで、イメージが明確になり、参加しやすくなったと思う。</li> <li>・定年退職する前に何らかの地域活動に参加してもらう方が良いのではないか。</li> </ul> <p>意見一覧を 9 月 16 日に部会員に郵送。9 月の部会で検討を行います。 10 月は「あったか言葉」事業の審査があるため、9 月の部会で決定する予定です。</p>

第5回 自然文化部会 会議概要

日時	令和3年8月26日（木曜） 午後1時30分～午後2時50分
会場	新潟県立豊栄高等学校 3階メディアデザイン室
出席委員	伊藤部会長、渡邊副部会長、小日向委員、前田委員、山賀委員、本田委員、平松委員
欠席委員	大島委員、柳委員
事務局 関係課	区民生活課（高橋課長）、地域総務課（長谷川課長補佐、伊藤副主査）
会議要旨	<p><b>1. 福島潟魅力PR動画（春～夏編）のプレ視聴を実施について</b>  豊栄高等学校の生徒が制作している動画4案を視聴。各班の動画説明と視聴の後、各動画について、委員と生徒とで意見交換を行った。（代表的な冬鳥や福島潟の魅力紹介・初めて来る人にわかりやすい工夫・字幕の文字調整・昨年の意見交換が反映されていた・キャラクタークイクイが効果的など活発な意見交換だった）。</p> <p>終了後、完成動画のベースとする動画案一つを参加委員で選定し、豊栄高校へ伝えた。</p> <p>意見交換で出た内容を基に、動画の完成に向け引き続き編集作業を進めていただくよう豊栄高校へ依頼した。</p> <p><b>2. フォトコンテストについて</b>  実施要領が固まったため、チラシの制作に入る旨の報告が事務局よりあった。作品の募集期間は10月～11月とし、受賞作品で作成するカレンダーは年度カレンダーにする事などを確認した。</p>